

大腸内視鏡検査説明書・同意書

【検査目的・方法】

- ・内視鏡を肛門から挿入し、大腸に炎症・潰瘍・ポリープ・癌などの以上がないかを調べます。
- ・腸の走行やまれに狭窄や癒着等で挿入が難しく、盲腸まで内視鏡が到達できないことがあります。その場合は、代替の検査や高次医療機関への紹介につきご相談させていただきます。
- ・必要に応じて、粘膜の一部を採取（生検検査）して顕微鏡検査（病理組織検査）を行います。
- ・切除が適当と判断したポリープがあった場合は、その場でポリープ切除を行います。但し、サイズの大きいポリープや出血等のリスクが高いと判断されるポリープ、個数が多く切除困難と判断した場合には高次医療機関へ紹介をします。

【検査・治療に伴う偶発症】

- ・前処置で内服する下剤により腸閉塞・穿孔等の合併症を引き起こすことがあります。下剤の内服時は、どなたか一緒にいていただくか、ご家族や知人などと連絡がとれるようにして内服を開始し、腹痛や悪心・嘔吐の症状が出現した際は内服中止し当院へ連絡ください。
- ・内視鏡が屈曲部を通過する際、多少の腹痛を感じることもあり、また観察のために適量の炭酸ガスを使用するためお腹が張る可能性があります。
- ・内視鏡検査自体や生検検査、ポリープ切除術によりまれに出血や穿孔などの合併症を起こすことがあります。大腸内視鏡検査・治療に伴う偶発症発生頻度は10,000人に1人程度です。
- ・万が一合併症が発生した場合は万全の対応をさせていただきます。その場合は、通常の保険診療となります。

【注意事項】

- ・大腸に便が残っていると十分な観察が困難となり、後日再検査が必要となる場合があります。
- ・ポリープを切除した場合、検査後14日程度は後出血の可能性があります。アルコール、刺激の強い食べ物、暴飲・暴食、過度の運動、長風呂、遠方への移動等はお止めいただく事をおすすめします。
- ・抗凝固薬や抗血小板薬を内服されている方は、生検後の出血のリスクが通常より高いことをご理解した上で行うこととなります。また、ポリープ切除を希望されている方は、数日前から休薬期間が必要となります。主治医と相談した上で休薬期間を設けてください。

【その他】

- ・一旦同意書を提出しても、検査を開始するまでは同意を撤回することができます。同意を撤回する場合は、その旨を当クリニックにご連絡ください。同意を撤回されたことに対する不利益はありません。
- ・ご質問・ご不明点がある場合には、検査前までに医師・スタッフにお尋ねください。

以上につきご理解いただいた上で、大腸内視鏡検査に同意いただけましたらご署名ください。

同意します。

同意しません。

◆ご家族の方がそのことを十分に理解されていることが望ましいので、ご家族にもご了承ください。

◆20歳未満の場合は、法定代理人である親権者に同意していただきます。

年 月 日

患者様本人または代理人署名

内科・消化器内科・外科



天白宮田クリニック
TENPAKU MIYATA CLINIC